

## 施工仕様書

| 工程    | 材料・調合   | 施工用具・条件                                      | 塗回数   | 放置時間hr(20°C) | 塗付量 |
|-------|---|--|---|--------------|-----|
| 前処理   | 旧塗膜に付着している水分、汚れを除去する。剥離対象以外の箇所には、ポリエチレンフィルム・粘着テープ等を用いて被覆養生する。屋外作業の場合は、剥離剤が飛散するのを防止する為、シート養生を行う。 |  |   |              |     |
| 塗付    | キクスイアクアリムバーエコ 主材:16kg<br>無希釈  | エアレススプレー、はけ<br>ウールローラー等                      | テスト施工の結果をもとに、塗付量、放置時間、塗回数を決定する<br>塗付量:0.5kg/m <sup>2</sup> (0.5mm厚)~1.5kg/m <sup>2</sup> (1.5mm厚)<br>軟化養生時間:24~48時間 |              |     |
| 軟化養生  | —————   | —————  |   |              |     |
| 除去    | —————   | スクレーパー等<br>剥離器具・工具                           |   |              |     |
| 廃塗膜処理 | 剥離した塗膜は、塗膜に含まれる有害物質の種類、量に応じて適切に破棄する。  |  |   |              |     |
| 洗浄    | キクスイアクアリムバーエコ 主材:15kg<br>専用クリーナー 無希釈  | ウェスなど<br>剥離後別途、プラスト、動力工具に<br>よる素地調整を行う場合には不要 | 当事者間の協議による  |              |     |
| 素地調整  | —————   | 電動工具など                                       |   |              |     |
| 再塗装   | 剥離面へのごみが付着、さびなどが発生する前に再塗装を開始する。   |  |   |              |     |

※剥離する塗膜の仕様（塗膜系、膜厚など）を調査し、事前にテスト施工を行い、軟化の程度、剥離剤の塗付量、放置時間などを確認してください。

## 剥離後の処理方法

剥離した塗膜は産業廃棄物として処理してください。  
但し、PCB、鉛、クロムが含まれた塗膜は特別管理産業廃棄物として処理してください。  
アスベスト等が含まれた塗膜は石綿含有産業廃棄物として処理してください。

## 荷姿

|                            |             |        |
|----------------------------|-------------|--------|
| キクスイ アクアリムバーエコ (Aタイプ・Bタイプ) | NET 16kg/缶入 | 4kg/缶入 |
| キクスイ アクアリムバーエコ専用クリーナー      | NET 15kg/缶入 |        |

## 適用塗膜

| 軟化しやすい         |              | 軟化しにくい       | 軟化しない          |
|----------------|--------------|--------------|----------------|
| 鉛系さび止めペイント     | 変性エポキシ樹脂塗料   | 鉛丹さび止めペイント   | 無機ジंकリッチプライマー  |
| フェノール樹脂 MIO 塗料 | タールエポキシ樹脂塗料  | 超厚膜形エポキシ樹脂塗料 | 無機ジंकリッチペイント   |
| エポキシ樹脂 MIO 塗料  | 有機ジंकリッチペイント | ウレタン樹脂塗料     | 無溶剤型変性エポキシ樹脂塗料 |
| 長油性フタル酸樹脂塗料    | エポキシ樹脂塗料     | ふっ素樹脂塗料      | ガラスフレーク塗料      |
| 塩化ゴム系塗料        |              |              |                |

※錆、黒皮の除去は不可

## 環境配慮型剥離剤

# キクスイ アクアリムバーエコ

## 建築仕上材メーカーが作る仕上材のための剥離剤

構造物・建築物などに塗装された各種塗膜を、  
高生分解性環境配慮型剥離剤によって  
膨潤状態にしてから撤去します。



### 注意点

施工上の注意事項及び安全衛生上の注意事項をご確認の上、施工ください。  
各製品ごとの注意事項については、ダウンロードサイトよりご確認ください。

### kikusui ダウンロードサイト

掲載製品を取り扱う際は、各製品のSDS及び標準施工仕様書をご確認ください。



菊水化学工業株式会社 本社 ☎ 052-300-2222(代)

ホームページ <https://www.kikusui-chem.co.jp/>



仙台 ☎ 022-706-5710 大阪 ☎ 06-7668-5320  
東京 ☎ 03-3981-2500 福岡 ☎ 092-433-6262  
名古屋 ☎ 0568-69-5200

●このパンフレットは2023年6月の情報により作製しております。  
●このパンフレットに掲載の製品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。  
●諸官公庁等の特記仕様がある場合は、それを優先して下さい。

vol.12-2

# kikusui

# 新 環境配慮型剥離剤 キクスイ アクアリムーバーエコ

## Aタイプ 中性タイプ

## Bタイプ アルカリ性タイプ

従来、橋梁等の塗替えには高級アルコール系の剥離剤が主流でしたが、塗替え工事現場にて火災事故が起り、再発防止策として使用材料の見直しが検討されました。その結果、土木鋼構造物用塗膜剥離剤ガイドライン(案)が刊行され、剥離剤の水系化が加速しています。

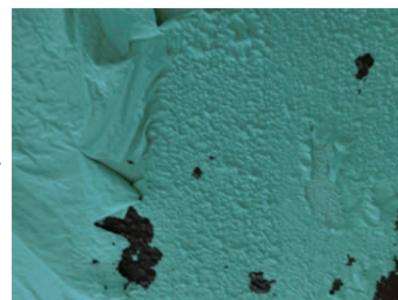
### 工程



剥離剤塗付



塗付直後



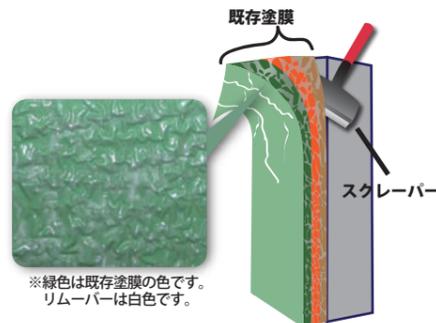
放置



スクレーパーによる剥離作業



剥離後の塗膜



キクスイ アクアリムーバーエコは、塗付した部分が白いので塗り残しを防ぎます。厚付け可能なので、成分がしっかりと浸透します。

厚付けできて、旧塗膜をしっかりと浸透・膨潤させるので、塗膜を簡単に剥離できます。剥離塗膜が大きく剥れるので回収・廃棄作業が簡易です。

## 有害物質に関する法令① (環境省)

ポリ塩化ビフェニル廃棄物(PCB)の適正な処理の推進に関する特別措置法施工令により、PCBを含む塗膜は、2027年3月までに処分委託を行わなくてはなりません。  
**既設塗膜の完全な除去**が必要となります。

## 有害物質に関する法令② (厚生労働省)

塗料の成分について鉛等の有害物が確認された場合は、鉛中毒予防規則等関係法令に従い、**湿式による作業の実施**、作業主任者の選任と適切な作業指揮の実施、有効な保護具の着用が必要。

## 特長

キクスイ アクアリムーバーエコは、PCB、鉛含有塗膜の湿式剥離性を追求した製品です。

### ① 安全性

鋼道路橋などの重防食塗装系の旧塗膜を安全に除去・回収・廃棄できます。また、引火点が高いため安全に使用できます。毒性の高いジクロロメタンやシックハウス症候群の原因となるNMPを含みません。

また、有機溶剤中毒予防規則(有機則)対象物質を含みません。水系剥離剤のため、より安全な作業が可能となりました。

### ② 環境配慮型製品

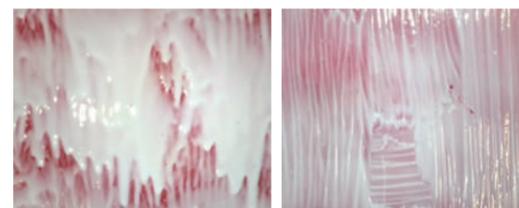
- ・高生分解性(94%)  
(※土木ガイドライン規定:60%以上)
- ・低魚毒性(370ppm)  
(※土木ガイドライン規定:10ppmより大きい)

排水中、土壤に付着した剥離剤は土中の細菌が分解処理するため、無害化しやすくなっています。

### ③ 高塗着性で工期短縮

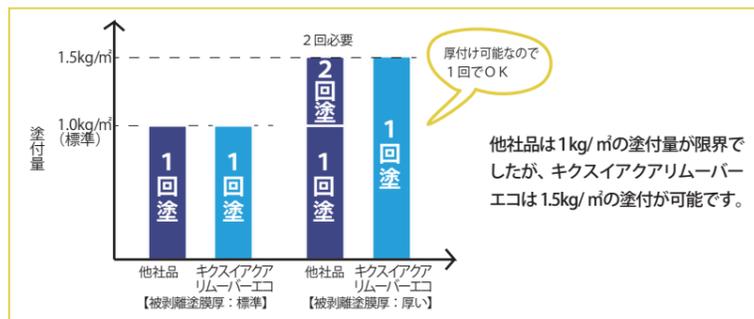
当社のレオロジーコントロールで高塗着を実現しました。垂れづらく、1回で多めに塗付できるので、塗付・剥離工程数が少なくでき、時間や手間を省けます。

#### ■ 塗着比較 (施工方法:ローラー、塗付量:500g/m<sup>2</sup>)



他社品

アクアリムーバーエコ

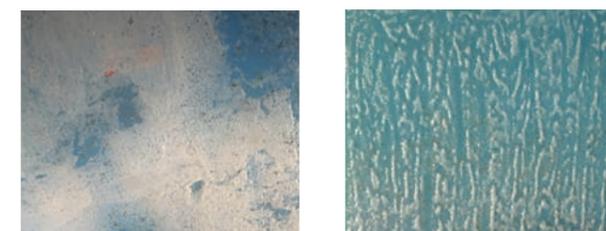


他社品は1kg/m<sup>2</sup>の塗付量が限界でしたが、キクスイアクアリムーバーエコは1.5kg/m<sup>2</sup>の塗付が可能です。

### ④ 低温安定性

低温でも凍結しにくく、安定した作業が可能です。

#### ■ 低温時塗膜比較



他社品  
低温時に凍結

アクアリムーバーエコ  
凍結せず浸透

アスベスト含有建築用仕上塗材に対しても、水系剥離剤として、より安全な作業環境を提供できます。

